

県内では、毎年
多くの猫の命が
失われています。

猫のために出来
ることを考えて
みませんか。(裏面へ)



県内で亡くなった猫	2022 年度
野外で亡くなった猫（交通事故等） ※ 1	5,601 頭
動物指導センター収容後、又は搬送中に亡くなった猫 ※ 2	254 頭
合計	5,855 頭

※ 1 市町村が野外で亡くなっている猫を収容した頭数です。野外では交通事故、外敵、病気など、命を落とすリスクが多くあります。

※ 2 動物指導センターに収容される猫のほとんどが飼い主のいない猫です。
また、そのうち 80 ～ 90% が離乳前の子猫であり、職員が哺乳や治療などの保護をしていますが、残念ながら一部の猫は譲渡される前に死亡してしまいます。

猫ってこんな動物

寿命は 15 ～ 20 年※
(屋内飼育の場合)

※野良猫の場合、3 年ほど

餌のある場所を
縄張りにする

基本的には単独生活※

※餌が豊富な場所では他の猫とも共存する

妊娠期間は約 2 か月

1 回に 4 ～ 8 頭出産、
年に 3 回程出産可能



茨城県

猫のためにできること

◎猫を飼っている方へ

1. 迷子札をつけましょう(所有明示)。
2. 屋内で飼いましょう。
3. 最後まで責任もって飼いましょう(終生飼養)。
4. 不妊去勢手術をしましょう(繁殖制限)。
5. 絶対に捨てないでください。

マイクロチップによる個体識別

※15桁の数字データの入ったチップを
獣医師が注射器で埋め込みます。
迷子になっても、ちゃんと飼い主さん
の元にお返しできます。



◎猫に餌を与えている方へ

野良猫に対し、「かわいそう」という感情から餌を与え続けることで、他の地域から餌を求めて新しい野良猫がやってくるなどして、更に猫の数が増え、交通事故などで死亡する不幸な猫も増えてしまいます。また、その結果、「庭に糞尿をされ悪臭がする」「鳴き声がうるさい」といった近隣住民からの苦情になるケースがあります。

不幸な猫を増やさないためにも、次のことを守り、近隣住民とのトラブルが発生しないよう心がけましょう。

- ①ご近所の理解を得ましょう。
- ②不妊去勢手術をしましょう。
- ③餌の食べ残しはすぐに片づけましょう。
- ④餌場のすぐ近くにトイレを置いてあげましょう。
- ⑤周辺環境の美化に努めましょう。



また、県では、このような猫に不妊去勢手術を実施し、新しい飼い主を探していくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくための「地域猫活動」を支援しています。

◎不妊去勢手術のメリット

繁殖制限には、数が増えないほかにも、猫にとって様々な良い効果が得られます。

- ・ケンカによるケガの防止
- ・スプレーやマーキングの抑制
- ・性感染症等の病気の予防
- ・尿の臭いの軽減
- ・発情がなくなり、鳴き声を抑制
- ・妊娠、出産の身体的ストレスから解放



穏やかに過ごす
ことができます!

◎猫の侵入防止対策 (お困りの方へ)

自宅の敷地内は、敷地の所有者自身が猫が入ってこないよう対策をとることが原則です。敷地内に猫が入ってきて困る方は、次のような侵入防止対策をとってみましょう。

物理的な侵入防止
柵、障害物の設置

においで防ぐ

超音波発生器

これらの他にも方法はあります。猫との根比べでもありますので、いろいろ試してみてください。侵入防止対策は継続することが重要です。



問合せ先

茨城県保健医療部生活衛生課 動物愛護担当

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6

TEL029-301-3418 FAX029-301-3439